

片手で化粧をするプロダクトの研究 Researching a One-Handed Makeup Product



片手で化粧をするということ

この研究は「片手で化粧をする」ことで、切断・骨折などの理由から片手で生活をする方や、片麻痺の方に対して日常的に、あるいはリハビリをしていく中で化粧をすることができるという希望を生み出すようなプロダクトを目指した。そして、それは私たちに対しても新しい体験や気づきを与えるものになるだろう。

What It Is Like to Apply Makeup with Just One Hand

People live a one-handed life, temporary or permanent, for various reasons – amputations, bone fractures, unilateral paralysis, or physical rehabilitation. Such life, among other things, may include applying makeup. In my research, I focused on “one-handed makeup” to create a makeup product that is not only enabling but also inspiring despite having only one hand to apply it. I also believe that this project will help non-disabled people acquire a new perspective and awareness.

眼窩に支点を作るマスカラを提案

眼窩部分に支点を作ることで深部知覚において立体・位置覚を感じ取り、操作性を高めた提案。微細な動きを可能にすることでブラシを扱う可動性もより高まり、スムーズに化粧が行える。これまでに行えなかったシーンでの使用が可能となり、鏡を見ずに化粧ができる可能性を高めるものとなった。

色にも機能を

眼窩部分と柄部分のかたち、色とを同時に勘案していくことでデザイン性と機能性の融合を目指す。装飾だけではなく、色が持つ「視認」や「識別性」といった機能も持たせた。